（廿七日夕刊）

磐城新聞

休刊日　大祭第一第三日曜日
定價（壹枚二錢　壹ヶ月五十錢　郵税拾錢）
廣告料（雜報欄一行五十錢　場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社　電話五六番

日本海の大海戰

けふは海軍記念日

日露の交渉破れて、明三十七年二月の初旬、遂に日本帝國露國に對して自由の行動を採ることゝなり、我が聯合

艦隊

は、敢然と佐世保を出港し敵の機先を制して、旅順仁川に攻撃を開始しました、續いて黄海、蔚山の海戰となり、露國の東洋艦隊に再び起ち難い程の大打撃を受けたのでございます、一方バルチック艦隊は戰艦七隻、巡洋艦一隻、驅逐艦九隻よりなる主戰艦隊と巡洋艦七隻の巡洋艦隊と運送船十六隻の運道艦隊を揃へて、それに驅逐假裝巡洋艦が加はつて遙々と萬里

東征

の門出についたのであります。かくて五月二十七日の午前、東方の水平線上には一抹の彩雲が曉明の光りを投げかけ初めました午前四時四十五分信濃丸から、對馬海峽の濃霧を破つて「敵艦見ゆ」との警報がありました、東郷司令長官は「敵艦見ゆるの警報に接し聯合艦隊は直に出動、之を撃滅せんとし、本日天氣晴朗なれども波高し」との

名文

を第一の報告として、大本營に打電し、總艦隊を率ゐて沖の島の北方に出動いたしました、見渡せば大小艦隊四十餘隻は、檣頭高く大將旗を翻せる旗艦三笠に率ゐられ威風堂々海面を壓し、濛々たる煤煙を天空に棚引かせつゝ滿艦の將士は躍り立つて、甲板を踏むこと三度、形容すべき言葉もありません。午後一時三十九分、南西遙かの水平線上には黄土色の

煙突

が折柄の濛氣の中からズラリと並んで見えはじめて來ました、その様は敵ながらも天晴れの武振りであります、幕僚を牽ゐて三笠かん上に立たれた東郷長官の双眼鏡裡には三笠の南々西約七里の方向に、二列陣の敵かん隊が映じ出されました、一時五十五分、三笠の檣頭に信號旗がスルスルと揭げられます之ぞ有名なる「皇國の興廢此一戰に在り各員一層奮勵努力せよ」であります、實に皇國の存亡を賭する一六

勝負

で若し敗れんか、朝鮮の交通も不可能となり滿洲軍との連絡も斷たれるのであります、信號兵はツブレよと許り、喇叭を握りしめました、砲員は碎けよと許り砲彈を抱ねしめました、悲壯勇烈の氣早くも既に敵を壓倒するものがあります、敵は二列縱陣から單縱陣に形を改め我は始めから單縱陣で敵に迫りました。このまゝ相接すれば互に一舷の砲火を交わつゝ航過し終るに

過ぎ

ない、さりとて、敵前に進路を反轉することは出來ません。然るに意外、先頭の三笠は敵前八千米に在りながら、突如取舵をとりました。これ正に東郷長官の勇斷であります机上の演習にてはこれは下策中の下策であります。しかし、これこそ實に後世の濫りに模倣を許さゞる天下一品の獨擅場であります。敵かんの幕僚は各々これを見て、喜んだ――敵は得たりと許り

猛射

を浴せ、三笠の附近には巨彈が雨と注ぎました、長官は右手に双眼鏡、左手に一文字吉房の軍刀を握り、微動だにもしません、かくてT字の戰法が敷かれました、この時「打方始め」の命で猛烈に射撃したのであります、午後二時十分、距離正に六千四百米突、沖の島一帶の海上は各かんの煤煙で天日爲めに暗しの壯觀を呈しました。やがてオスラビヤ、フウオーロフ、アレキサンダーは

火災

を生じ、相繼いて列外に出て陣形は亂れて來ました、第二、第一と各かん隊は歩調を合して敵の進路をさへぎり、敵の長官は、驅逐艇にて脱出しました、時既に日沒味方は鬱陵島を根據としました、斯くて其夜水雷艇に惱まされた敵は一夜明けて鬱陵島附近へ逃れてほつとする間もなくわが主力かん隊に包圍されて遂に降伏するに餘儀なく、ネボガドフ少將は、わが水雷艇に乘つて、三笠なる東郷長官に

引見

しました、この歴史的の光景こそ全世界驚嘆の的となつた日露大戰の最後であります。

明日の吉凶

新暦五月二十八日
舊暦四月二十八日

▲一白　一時調子付きたる咄しも後は破れ易し注意▲二黒　花々しき榮進はなくとも隱れたる功ある日▲三碧　萎微の風は怠慢より來る腕一杯に働くべし▲四綠　靜かに安らかに氣永に辛抱すさば吉日たり▲五黄　一矢は折れども三矢の力は强し氣を揃へよ▲六白　これより吉くなる初め支障のため氣を折るな▲七赤　目先きを捨て大局に着眼して働けば大勝利▲八白　德を以てすれば如何なる魔も犯し得ざる日▲九紫　謙遜の德は我を樂園に導くものと知るべし

講談

血で血を洗ふ

(46)

高橋掬太郎創作
布施伴八郎揮畫

月下の白刄

神部清左エ門から命せられて陣中の成昌の許へ使者として向ふことになつた下瀬主水は神部の命に從つて夜中秘かに出發した。

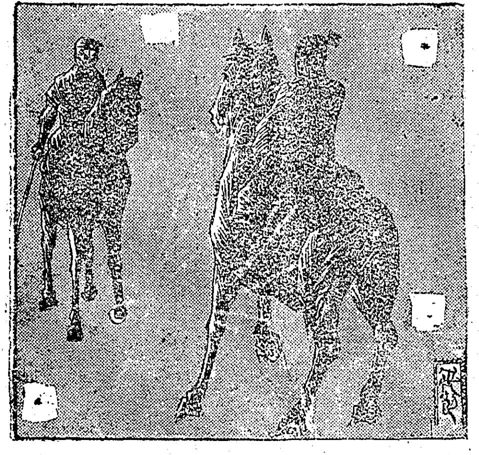
明朝出發するやうにと云つておいて夜中ひそかに出發した事はたしかに敵方を出し拔くためであつた。然るに對手もさるもの早くも訝かしと見て取つて人を忍ばせ樣子を探り主水の出發を見てしまつた。

とは知る由もない下瀬主水がしきりと馬を急がせてくうちにその夜は明けた。

しかしいくら出し拔いて來たと思つても矢張もしやと云ふ懸念があつて前後を見廻して尾行して來る者がないかと氣をつけたが何者の姿も見ねなかつた。

「誰れも尾行して來る者がないやうぢや。しかし油斷はならぬ」

と安心しながらも油斷はせずに神部清左エ門に注意されたやうに晝は馬を休め自分も寢て夜になると一散に鞭を揮てた。



かうして街道を走ること五日間やがて道は折れて人家の稀な山峽の細道を分けて進まねばならなかつた。

六日目の夜、彼は矢張山峽の細道を急いでゐた。脚下に碎ける瀧の音頭の上の方で物凄い聲で梟が鳴く。林の中を流れる月光水のやう靑かつた。

とどつと行手を廻つて人馬の足音、はつと思つて下瀬主水が手綱をしめて馬を留めて月光に前方をすかして見ると何時の間に尾行して來たのか一人の曲者馬上早くも拔刀して主水の行手を遮つてゐるのであつた。

「やゝッ――」

と主水は驚いた。と思はずうしろを振り向くと其處にも一騎の曲者月光に白刄ひらめかして構へてゐた。

「たゝいよ／＼出て來をつたのか」主水は叫んだ

流石に神部清左エ門が見込んで此の危險な使者に選んだ男だけに下瀬主水は決して武勇の點にかけては人を恐れるやうな臆病者ではなかつた。が彼には大事な使者としての役目があつたお家の安危に關する重大な使命の責任があつた。だから彼は敵と爭ふよりも身を守ることが大事であつた

また、武勇にかけては決して恐れないと云ふもののそれは彼の勇氣であつて武術にかけて何人をも恐れぬと云ふのでない。まして主水の腕前を知つてゐて追手をかけたのであるから主水に劣らぬ腕前の者を選んでゐるに相違なかつた。しかも相手は二人に身は一人主人は寸毫の油斷の出來なかつた。

主水はなるべくは其の場を逃げたいと思つた。そして彼は鞭を口にくわへ右手と一刀の柄にかけ乍ら左手に手綱を絞つて馬首を斜にからすと兩足に力を入れてぐんと馬腹を蹴つた。

その一氣　力に馬は四脚を絞つて斜に飛ぶと見るや林中を突つ走らうとしたが敵も油斷がなく早くも前方の一人が馬を横に向けて行手を塞ぎ後方の一人はその間に接近した。

「何奴なれば邪魔を致す。」

主水は大喝した。

「は……汝の命を貰ふのだ

前方の敵が大刀をふりかざして迫つた。

「忠義面する下水汝を此の儘に通しやつては折角の計劃も水泡に歸するのぢや命を貰つた觀念致せ」

後方の敵もいよ／＼迫つた。

「はゝゝゝさては早間重太夫の一味の惡人輩よな。汝等如きの邪刀で此の下瀬主水が斬れると思ふか――」

主水は高らかに笑つた

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

東京市日本橋區通油町
株式會社 **藤掛商店**
電話浪花三三五一番
振替東京三三四〇番
營業品目　絹糸、絹紡績　綿糸、染糸、組紐　漁網糸、人造絹糸　カタン糸、輸出用加工糸　奥綿、其他糸物一式
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集　十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

平館隣り
御料理
鰻蒲燒
仕出し
魚榮
電話四二四番

世界的日魯漁業會社が
大量製產の結果は
かくの如き安き鑵詰ありや
優良、美味、便利
氷山印鮭鑵詰
特價　金貳拾參錢
平町二丁目
西村屋藥局
電話三番

株式賣買
諸株式の賣買に應じます
取引は迅速を第一とします
謹告
株式現物賣買
平町田町六八
駒場四郎商店
電話四六五番
電略（カネ）又ハ（コ）
（電話高價に買入たし）
取扱は親切を旨とします
土地賣買金融の中介をします

ステキに良い石炭とコークス
ステキに安い石炭とコークス
ステキに理想的な石炭とコークス
物は試し是非一度御使ひ下さい。如何に廣告よりも實物が優れて居るかわかりませうから
電二三七番
平驛前
阿部石炭商店

運動のシーズン
御忘無　旅行に遠足に示時正確な時計を
新綠の晩春に
蓄音器とレコード
之有て一家益々團欒
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

蜂ブドー酒

艶でやかに
健こやかな

……肉體美こそ　特に御婦人方の生命とするところのものであります　ハチ切れ相な豐滿な肉體　薄紅を刷いた如な皮膚の輝き　その所有者たらしむべく釀られた『蜂ブドー酒』は精力增進のため　人體に無くてならぬ榮養素のすべてを蒐めたものであります

『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を皆樣のお薦めに依り　且つは時勢の推移に鑑み　今後『蜂ブドー酒』と改めます　なほ市場にある從來のものは其儘としてありますが　御安心の上引續き御愛飮を願ひます

發賣元　近藤利兵衛商店　製造元　神谷傳兵衛商店

けふ海軍記念日に
在平各校の催し
磐中、商業はマラソンを
其他女校は講演

當時聯合かん隊司令長官東鄕平八郎提督が彼の有名なる『皇國の興廢此の一戰にあり、各員一層奮勵努力せよ』の名信號を旗かん三笠かん上高く掲げさしものバルチックかん隊を粉碎し世界をして驚倒せしめた日本海々戰第廿四年目の記念日に相當する廿七日は國を擧げて當時を回想し各種の催しあつたが在平官私立各學校がそれ／＼恒例の催しがあつた

△磐中一千の健兒は午前八時學校庭より草野村小學校間約七哩の往復マラソン競爭を決行したが記錄は六十二分二十七秒にして（一着）四年小林行雄（二着）五年西山直治（三着）四年木幡英男（四着）二年平山三郎（五着）三年大平正夫

△平商校も恒例に依つて校前より驛前廣場まで約五哩のマラソン競爭を決行し午前八時十一分スタートしたが（一着）三年早川庄鬼（二着）三年石黑光雄（三着）二年大木昴（四着）二年木幡廣美（五着）二年小野瀬榮次　以上

△磐高女は午前八時より同校講堂に於いて海講團講師の大海戰話を聽き午前十一時散會

△第一小學校は午前八時曾我校長の海戰に關する講演あつて後全校生二千の兒童が紅白に別れての月次運動會を同校々庭に於いて擧行した

△第二小學校は第一校同様原田校長の講演あつて午前十時から作品展覽會を開始した

△藤田女學校は午前九時から同校に於いて藤田校長の講演あり

△平陽女學校ゝ酒井校長の講演あり各れも惠まれたる深綠の日心ゆくまで海軍の戰勝を記念した

八十軒が並んで
旅館營業困難
本月中宿泊した
平の外來客調べ

平町には住吉屋、尼子、丸新其の他の一流所から二、三流所まで旅宿を營業とするもの八十幾軒かの多きに達し場末の木賃級の安宿を加へると百軒を突破してゐるが今

木賃級の宿屋を除いた八十幾軒かの旅宿に此の五月一日から二十五日までの宿泊人を平署で聞くと合計五千六百八十五人で之れを一日平均に見れば二百廿七人となり更らに一軒一日當りは三人强の割合であるが今月當初から中旬にかけて徴兵檢査が平町で施行されたためどうやらこうやら此の位いまで曳ぎ付けたので此れが今年中の書入時數字としては少し客尠な過ぎる感はあるがそれでも昨年の同期に比較すると約千人以上の大激增を見た譯である、今月中宿泊人の一番多かつたのは去る十二日の四百五十三人で

數年來見られなかつた數字を示したが徴兵檢査の終了した十六日以後は一流處はさてたいて二流、三流の中には一人の宿泊さへない日があるのも稀な事でなく昔から『小金を溜めたら宿屋をやらう』とさへ言はれてゐた此の商賣も流石に仲々樂でない事がうなづける

十八十色
（五）

絶對の弱者よ汝は絶對の強者也
平町の共同便所を廻る
藤田君夫妻の事

讀者諸君はよく平町を徘徊してゐるチンバな夫婦連れを見るであらう、之れぞ即ち平町衛生課雇、兼トギ屋業の藤田幸造（三七）と稱する名物男である

藤田君は彼れ之れ四ケ年前から平町衛生課に雇はれ月棒九圓を給與されゝ、その傍らハサミ、カミソリ、バリカン等のトギ屋を業としてゐる、そして彼れは愛妻のおトミ（三九）さんと必ず共に各所を廻りつつパンを求めてゐる

彼れ藤田君は平町を彷徨する際にはいつも高ボーキを肩にし手のついた石油鑵の容鑵を持つてゐる、それもその筈、彼れは月に三回平町の共同便所をグルリと廻つて月に三回つつの掃除をするのが責務であるのだ

而して彼れは戀女房のおトミさんとあついキッスを交はしつつ南は水戸より平町まで轉々として、トギヤー／＼とガナリ作ら萍の樣な生活を續けてゐると云へば一定の住所がない樣にも思はれるが決してそうではない、然かも平町字材木町に東北衛生舍なる堂々たる看板を掲げ、その總監視格であり掃除技師で人夫であるのだ

「コンチワ」と彼れが破けた鳥打帽を取ると藤田君の頭髮はあだかも春の燒け山の如く凸凹千穴のヂャンカそのもので、人或は寐てゐて鼠に嚙られたのかとも思はれるだろうけれども決してそんなやさしい冗談事ではない

本來が何處までも眞面目にして自己の天職に忠實なトギ屋の彼れ藤田君はカミソリを研いだとき、必ずその切れ味を試驗する爲め自分の頭の毛を犧牲に供する所から斯くは珍妙な頭となつて了つたのも彼れならでは出來ぬことであろう

然し斯く自ら語る藤田君の容姿には飽くまでも人間としての或る尊さが浮むで來る、記者が若しエースであつたならば『絶對の弱者よ汝は絶對の強者である』と宣するに躊躇をせぬ

藥王寺を荒した
國寶の賊捕はる
山形縣に入り込むだ所を
犯人は遠藤忠三

石城郡大野村の藥王寺本堂内にある國寶彌勒ぼさつの像の大かけ物および同寺の寶物になつてゐる錦鷄鳥の圖弘法大師の像、不動尊藥師如來その他經本（時價三萬圓以上）が又る二月二十七日より四月二十二日までの間に盜難にかゝつたので全國へ手配し犯人搜查中本月下旬に至り東京下谷區から右盜品の一部が發見されたところから足がつき犯人は行商人を装ひ山形市に潜入した形跡あるのを探知し數日前上野警察から電報がつたので搜查中二十五日東村山郡大童町鎌田温泉新庄館に綿屋と化け込み投宿してゐるところを捕はれた右は相馬郡中村町宅向町遠藤忠三（三〇）といひ上野署から引取りに來た刑事に引渡したが同人は雇人なる同郡原町新町長澤善七（三五）を行商人として盜みださせ土浦の浪花屋といふ古物商を手を介して東京市内に賣り込ましたものであることを自白した

辯士を慕ひ
子娘の家出
平署へ告訴さる

茨城縣多賀郡華川村大字下津字野中坪長吉長女崎トク（一九）は今年春頃から常磐地方を活動の辯士兼樂隊をしてゐる平町字立町中川修作三男留太郎（三二）と情を通じ末は夫婦と約束したが仲々曾ひぬのでトクは情夫の後を追つて昨廿六日午後五時頃無斷で家出したが實父長吉からの願で平署鈴木巡査のため平驛に下車した處を取押へさられ今廿七日實父に引渡されたが長吉は自分の娘の不心得を棚に上げて留太郎が娘を誘拐したと平署に訴へ出た

保險勸誘に
平局大活躍
局長以下總出

平郵便局ではようやくモラトリアムも撤廢され期間中に發生した債權債務の民商事關係による支拂猶豫期間三週間もあと一週間を殘す處となつたので一時中止して居た貯金及び保險の勸誘を開始する事になり二十、二十一の兩日は田村局長以下幹部內鄕村好間炭鑛、小田原炭鑛方面に出勤して各戶別的訪問を行ひ郵便貯金簡易保險奬勵の冊子宣傳ビラを配布した成績良好だつたので近く第二次的運動を開始すべく計劃中である

錦村小學校で
體育の實際
冊子を發行

石城郡錦村尋常高等小學校では去る大正十五年五月文部省より全國各學校に下附された學校體育要目の要旨に準じ同年九月より同小學校兒童に之れを應用專ら体育實地の研究を加へた結果其の成績極めて良好なので此の種の教授材料の資に供すべく『體育化の實際』と稱する五百頁の冊子を發行したが本縣學務課では之れを檢查し一般に普及の意向であると

南方部を皮切に
郡下の田植初まる
成る可く早く植ゑよ
野村技師の談

本郡下農村の田植期は愈々目前に迫つてゐるが當地方は氣候其の他の關係のみらず一般農家は早植を好まないため例年縣下各方面に比して幾分遲れてゐるため收穫も思はしくない結果を見てゐたため郡農會は今年當初から盛んに早植を奬勵してゐたが今年田植期は來月二、三日頃の郡南方部を皮切りとして山間方部の廿五日頃の切上りで十日から十五日前後が最盛であらうと豫想されてゐるが郡農會野村技師は『當地方は一般の慣習で幾分遲植の傾があるので盛んに早植を奬勵してゐたのであるが田植の遲速が收穫に多大の利害がある事理解されてゐない樣で目下の天候が頗る順調で田植には好適であるし苗代が大分良好で赤井村高萩の約五反歩の苗代が鹽分過多で枯死した程度の被害があつたのみで其の他郡內一般頗る好成積を見せてゐるから此の分ていつたら秋の收穫は必らず豊作であると斷言出來る』云々と語つてゐた

閑影

◎高松立花ユ社聯合映畫◎原作壽々喜多呂九平
◎監督安田憲邦◎主演草間實、西條香代子

高松プロダクションから阪妻入りした草間實第一回主演映畫、草間は文藝の寵兒今東光の舍弟にあたり、其殺陣振りは評判ものである大衆連續時代映畫と云ふ大變な振れ込みだが、何んなものが出來るか?、兎に角西條香代子に取つても最初の時代劇であるし一寸興味があらう、期待していゝ映畫、目下撮影中である。

草間實の扮裝

明年より三年繼續で
南町の下水改修
しこしは防臭劑で
町當局方針決る

平町は下道が完全になつて居ないのでこれが完全を期する事は上水道が完備した平町として最急務であるが何せ緊縮豫算一點張りで豫算を編成してゐるので下水道の完備は當分望み得ない狀態になつた然し非衛生極まる個所についてはその儘放任して置く譯にも行かず殊に南町裏の下水道は流出口がないため汚物が沈積し多分にも惡臭を放つてゐる事とてこれから夏期になつてくると下水路附近の者は非常に惱まされるので町當局に於ては之を改修する事を永年希望して居たためこの一番ひどい南町の下水路を明年度から三ヶ年繼續事業として改修工事を行ふ事に決定したが、今年は防腐防臭劑を撒布して出來るだけ衛生的に掃除をする方針であると

明夜『映畫の夕』

平驛檢車所は創立滿十週年記念の祝意を表する爲め二十八日平劇場に於て『映畫の夕』を開き家族の慰安會を催すと

好間の賭博
平署に捕はる

好間村大字北好間字槐作飲食店主小森七藏（四八）岩手縣生れ當時古河炭礦坑夫三森滿治（三七）信夫郡鎌田村生れ當時好間村大字三反田居住理髮業齋藤兵三郎（三五）の三名は昨夜午後九時頃前記小森宅に於いて現金賭の花合賭博中平署鴨原、中島兩巡查に踏込まれて一網打盡に逮捕された

かみえづ

こゝは新田町の某旗亭、久本の玉子、久千代、橘の妻子、谷口の千代駒に小染それに開花の友奴が座長となつて藝者の協議會を開きました、議題は『經濟に關する件』を一括讀會を省畧して逐條審議に移る、即ち座敷では總て煙草は客のものを吸ふ事です御異議がありますか、其件はモウ疾ふから實行してますから更らに必ず敷島を袂に入れて歸る事を緊急動議として萬塲一致可決確定▲次はお客に强請つて食事をすませる事、但しカレーライスよりはうな丼か親子がよいわ、誰れだ議長と呼むだのは、何番鳴ナンバンだ、意地きたないまたあれだ▲五番から建議があります、吾々藝者の借金の利息は高いからモット安くして貰えたい、月に百圓に五圓なんでそんなのつて無いわョ、議長之れは本會の權限外と認め係留致します

刑事八方に飛び
東堂山犯人搜查
炭礦方面に手を入れて
平署意外の緊張

田村郡小野新町東堂山萬福寺の四人殺事件の有力な犯人が平町方面に潜伏してゐるとの有力な手掛を得て急據小野新町署に應援中の青田刑事部長、柴崎刑事が歸平すると共に縣刑事課吉田部長を始め中村其の他縣下の腕利刑事數名も來平目下犯人搜查に奔走してゐるが今朝未明川上、二瓶の兩刑事は赤井、小川方面に急行吉田部長以下の各刑事は內鄕湯本町方面に夫れ／＼盛んに活動を開始し平署は朝來俄に緊張の度を加へて來たが當初平町の某所に潜伏してゐるものと觀られてゐた被疑者が炭礦方面に入混んだ形跡あるため平署の搜查は炭礦方面に主力を注いである

郡下に入り込むだ
不良の繭仲買人
當業者は注意を充分に
平署の目が光る

石城郡地方及び濱通り一帶の春蠶掃立豫想は目下の處桑の發育、蠶兒の成育ともに良好な爲三齡中で

春繭出廻　は十四五日の出まわり期を扣た昨今では各地から仲買人が入り込み暗中飛躍を試みてゐるが財界の變動の後をうけてゐることとて手付金のみで殘金を踏み倒すといふような不正業者もあるらしいので原の町縣蠶業取締支所ではこれが違反行爲取締につき注意し廿四日には久の濱蠶業取締所出張所長酒井技手は平町養蠶同業組合に出張

春繭取引　不正仲買人取締方法等につき打合せたが、來月二日は植田町、翌三日は平町舊郡役所養蠶同業組合、繭仲買人總會を開催協議するはず

毎週 土曜日デー
（午後三時より午後十時まで）
一品十錢 メンチカツ カレーライス コーヒーケーキ付
◎出前は御遠慮申します
カフヱータヒラ
平町一丁目〔電話六二〇番〕

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價 二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞數回受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

三百年の古い歷史と
他の模擬（まね）の出來ない
獨特の芳香（かほり）と色澤（つや）を有つ
ヒゲタ醬油
醸造元 銚子醬油株式會社
特約店 平町田町 廣瀨支店
電話五四番

平町紺屋町
吉田眼科醫院

故母ヨシ儀告別式ノ際ハ遠路御會葬被下且ツ御丁寧ナル御香奠ヲ賜リ奉深謝候拜趨御禮申述處乍略儀以書中御厚禮申上候

昭和二年五月廿七日

上田耕作
外親戚一同